

ともに

VOL. **18**
令和7年(2025年)
冬号



院内助産

～annei(アンネイ)～

御家族も一緒に誕生の奇跡に立ちあえる

市民とともに心ある医療を

地方独立行政法人 市立吹田市民病院は「市民とともに心ある医療を」の基本理念に基づき、急性期医療や高度医療、救急医療を中心に、吹田市の中核病院として、質の高い安全な医療の提供に努めています。それらの取り組みを、広報誌「ともに」を通じて市民の皆さんにお伝えいたします。

院内助産 Q & A



Q 院内助産の妊婦健診はいつですか。

A 30週以降からが院内助産となります。院内助産の方の妊婦健診は金曜日の午後となります。ただし36週と40週2回目(40週以降は週2回の健診です)の妊婦健診は、金曜日の午前となります。

Q 途中で院内助産を中止することは可能ですか。

A 可能です。仮に、中止という判断をされてもその後の診療に影響はございませんので、いつでもお申し出ください。

Q 予定日を過ぎても院内助産はできますか。

A 40週6日までのお産は院内助産での対応となります。41週0日からのお産は院内助産の対象外となり、医師管理に変更となりますので、安全にお産いただけます。

Q 今35歳で妊娠中に誕生日が来て36歳になります。利用できますか。

A 分娩予定日の時点で35歳と制限していますので利用できません。

Q 兄や姉は何歳でも立ち会えますか。

A 特別な年齢制限は設けていません。ただし、御家族で上のお子さんの安全を見守っていただく必要があります。

Q おしものに傷ができてしまったら。

A 院内に待機している医師が縫合処置を行います。

Q 妊娠36週に貧血と言われました。院内助産は中止ですか。

A 医師と相談のうえ、ヘモグロビンが10g/dl以上であれば、鉄剤を服用し、継続できます。

Q GBS検査で陽性と言われました。院内助産は中止ですか。

A GBSは、膣や肛門に存在する菌です。陣痛が始まった時点から赤ちゃんへの感染予防のため抗生剤の点滴を行います。院内助産は継続できます。

Message



「自然なお産ができる『院内助産』を提供したい」という強い思いで助産師たちが準備を始めてから数年が経ちました。お産の知識と実践力を増やし、ようやく令和7年(2025年)10月に「院内助産 annei(アンネイ)」を立ち上げることができました。私達は、医師による適切な医療と助産師チームの手厚いケアで妊婦さんが持つ「産む力」を最大限に引き出し、御家族と共に赤ちゃんの誕生を迎えられるよう支援いたします。「院内助産」を希望される方は、産婦人科外来までお問い合わせください。



5階西病棟 看護師長
木村 智子

問い合わせ先：産婦人科外来 ☎ 06・6387・3311(代表)【平日9:00～16:30】

ともに 18

令和7年(2025年)
冬号

■ 広報誌「ともに」に御意見がある方は市立吹田市民病院まで御連絡ください。

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 広報委員会 〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号
TEL 06・6387・3311 FAX 06・6380・5825
ホームページ <https://www.suitamhp.osaka.jp> メールアドレス shomu@mhp.suita.osaka.jp

院内助産の流れ

- 30週までは医師管理の妊婦健診と共に、初期(17週～19週)・中期(26週～28週)の助産師外来で対応します。
- 30週の妊婦健診時に、医師から院内助産の説明を受けていただきます。必ず御家族と共にお願いします。
- 32週以降の妊婦健診から、院内助産に切り替わります。
- 医師管理と同様に、助産師が毎回エコーで赤ちゃんの推定体重や羊水量の確認を行います。



院内助産を担当する助産師について

アドバンス助産師*が中心となり、妊娠中から産後までのケアを担当します。

※アドバンス助産師は、日本助産評価機構という助産師の実践能力が一定の水準に達していることを評価、認定する機構から認証を受け、緊急対応可能な医療機関で自律的に助産ケアを行う助産師です。

院内助産をされる方の妊娠中の経過

11週-14週	医師診察	初期面談	対象の方に院内助産の案内をします
17週-19週		助産師外来	
20週	医師診察		
21週-24週	医師診察		
25週	医師診察		
26週-28週		助産師外来	院内助産の希望を確認します
30週	医師診察		医師から院内助産の同意書を受け取ります
32週	助産師健診		
34週	助産師健診		
36週	医師診察		
37週	助産師健診		
38週	助産師健診		
39週	助産師健診		
40週	助産師健診		
	医師診察		

院内助産

胎児発育の確認もします

40週6日を過ぎると院内助産対象外になります

入院から出産まで

- 助産師の案内で入院をしました。



- 腰のマッサージで陣痛が和らぐよう御手伝いします。

- いよいよ出産です！



- 御家族と共に赤ちゃんの誕生を迎えることができました。

チームでお産をサポート！

市立吹田市民病院で 院内助産 をしませんか？

当院では、経験豊かな助産師チームが中心となって外来の妊婦健診から分娩、産後のケアまでを行う「院内助産」に取り組んでいます。

院内助産とは

助産師が主体となり医師と連携して妊婦健診からお産までサポートするシステムです。

お産については
コチラ



産婦人科ホームページ

当院での 院内助産対象の人は？

- 20歳～35歳の出産経験のある方(経産婦)
- 前回のお産で経過に問題がなかった方
- 高度生殖医療(体外受精等)を介した妊娠でない方
- 身長150cm以上
- 体格指数(BMI)が18.5以上25未満
- 現在の妊娠の経過が良好な方
- 4人目以上の多産婦でない方
- 合併症がない方

※詳細はお問い合わせください



院内助産 ～annei～に込めた思い

安寧、すなわち安らかなお産を目指したい。そんな私達の思いを込めて名付けました。



院内助産～annei～のお産について

- 妊娠中やお産の経過で異常を認めた場合は、速やかに院内助産から医師管理に切り替え、適切な治療で母子の安全を守ります。
- 人工授精(AIH)で妊娠しても高度生殖医療には該当しないため、御利用が可能です。
- 早産の既往があると、今回も早産の可能性があるため、御利用できません。
- お産の際、基本的に医師は立ち会いません。お腹のモニター所見は、常に医師も別室で確認しています。
- 院内助産に限り、上のお子さんが立ち会えます。
- 妊婦さんと赤ちゃんの状態で、医療介入が必要と判断した場合には、医師管理となるため、院内に待機している医師が立ち会います。